

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2年 2月20日更新

事務事業名		都市計画審議会運営事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	5	都市基盤の健康			所属部	都市建設部	課長名	岩男 竜彦
	施策	23	計画的な土地利用の推進			所属課	都市計画課	担当者名	管澤 秀一
	施策の柱	65	計画的な市街地の形成			所属班	都市計画班	(内線)	5263
予算科目	会計一般	款 8	項 4	目 1	事業連番 10172	根拠法令	都市計画法		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	都市計画法の規定により、都市計画の決定(変更)に際し、都市計画審議会を開催する。市街化調整区域での土地利用の需要の高まりにより、地区計画作定の要請が増えており、開催数は増えている。
【業務の流れ】	委員の選任、同意書徴集、委嘱状作成、都市計画法案・資料の作成、資料の配布、報酬・費用弁償の支払い
【主な予算費目】	報酬、費用弁償
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO)	都市計画法に基づく審議会を3回開催し適正な調査審議を行った。	31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
		資料作成・配布、合志市都市計画審議会の開催、都市計画の案の説明、委員の報酬・費用弁償の支払い
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ ア: 付議された案件数		都市計画審議会委員の減による報酬・費用弁償の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市全域の土地	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 件
		→ ア: 付議された案件数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	適正な土地利用を図る	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) 件
		→ ア: 承認された案件
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
都市計画の見直し(都市計画の決定・変更)案について当審議会により慎重審議され承認されることにより、より良い土地利用が図られる		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度実績(決算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	30年度実績(決算)	31年度目標(当初予算)	2年度予定	3年度見込	4年度見込
① 活動指標	ア	件	10	2	2	2	2	2	2	2
	イ									
② 対象指標	ア	件	10	2	2	4	2	2	2	2
	イ									
③ 成果指標	ア	件	10	2	2	4	2	2	2	2
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円	146	65	54	69	40		
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円	79		142	94	138		
		(A) 事業費計	千円	225	65	196	163	178	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	141	41	123	108	112	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	0	0
人件費	延べ業務時間	時間	280	265	150	585	150	0	0	
	(B) 人件費計	千円	0	1,048	597	2,306	597	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	225	1,113	793	2,469	775	0	0	

事務事業名	都市計画審議会運営事業	所属部	都市建設部	所属課	都市計画課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 地区計画等、審議会付議案件が予定されている。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 慎重な審議が必要な回数なされており、向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 市決定の都市計画は、都市計画審議会に諮らなければならないことが法律で定めてある。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費は委員の報酬・費用弁償のみを計上している。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 委員に個々の都市計画の案件を理解してもらい、審議会を円滑に運営するためには、現状程度の人件費が必要である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 都市計画の決定 (又は変更) をする場合に必要な諮問機関であるので、一部の受益者に偏るものではない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 都市計画を決定 (変更) する場合には、法律の規定により都市計画審議会に諮らなければならない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

都市計画決定事項 地区計画 (笹原第三)、用途地域の変更、土地区画整理事業 (御代志)、都市計画道路 (御代志木原野線) の変更
--

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						